

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	農・林・水産業	◎
			地域医療・福祉・介護、教育	観光・交流	
			地域コミュニティ・集落再生	環境	
			地域交通・情報通信	まちづくり	
ふりがな		なかにし じゅんじ			
氏名		中西 準治			
所属	名称	元・近畿大学東洋医学研究所・植物センター			
	役職	室長			
連絡	住所	〒 631-0803		奈良県奈良市山陵町 21-6 (職場)	
		E-mail kina4095[アットマーク]gmail.com			
	連絡先	TEL 0742-33-5040		FAX 0742-33-5040	
		連絡方法 郵便でお願いします			
略歴		<p>大学の学部、研究所に在籍し、その間、バイオテクノロジーを応用した花や薬用植物の栽培研究に従事した。薬学研究所、農学研究所、東洋医学研究所へ移籍するも薬学、農学、医学といろいろな面から花や薬用植物の研究に携わる。韓国や中国の大学及び研究機関などとも共同で、薬用植物の種苗生産や栽培事業に取り組んできた。</p> <p>退職後、国際協力機構・JICAからマレーシア・サバ州のキナバル公園、ラン保存センターでボルネオの野生ランや薬用植物を絶滅から守るプロジェクトに参加した。また、終了後、再びサバ州、森林開発公社で熱帯樹木や有用作物の優良種を組織培養で多量に増殖するプロジェクトに参加して、組織培養や栽培技術の指導に従事した。</p>			
著作・論文等		<p>長年続く生薬の輸入依存、薬事日報、第 12549 号、2022, 1, 10</p> <p>救荒植物を災害時の食料に、薬事日報、第 12720 号、2023, 3, 20</p> <p>キハダ栽培、技術継承に課題、薬事日報、第 12789 号、令和 5 年 9 月 11 日</p> <p>屠蘇や七草がゆで無病息災、薬事日報、第 12834 号、令和 6 年 1 月 1 日</p>			
取組概要		<p>農業振興のための施設を企画し、村へ提案をして教育実習の場、バイオセンターを設立しました。現在も花の種苗生産基地として運営されています。そこでは花の優良品種を組織培養で多量に生産して農家へ提供し、地域の産業振興に貢献しています。</p> <p>生薬メーカーや農家との共同研究で高品質の生薬を生産して商品化してきました。薬草の栽培を普及させる目的で、ハーブや薬草の苗を生産して大手市場を通して提供してきました。</p> <p>海外に於いても韓国、中国、マレーシアなどの大学や研究所、そして企業へ薬用植物などの有用作物を組織培養で大量生産する技術を指導して、種の保存や大量生産に貢献してきました。</p>			

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

メッセージ	大学の学部、研究機関で薬用植物、花、キノコなどの栽培研究に携わってきました。それらの成果は研究だけに終わらず、商品化して販売することを心掛けてきました。花ではスターチスなどの種苗、ランの種苗、薬用植物の種苗、ハーブの種苗、そして、バイオで作ったフラスコプラントなどの販売を行ってきました。大学ブランドの商品は市場でも好評でした。 これまで培ってきた知識や経験を生かして、地域にある材料に新しい技術や方法を取り入れて商品開発を進め、地域活性化のお手伝いをしていきたいと考えています。		
関連ホームページ		活動エリア	北陸、中部、中国、四国、九州圏

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。